

令和5年度

公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業報告

総括的概要

令和5年度の日本経済はポストパンデミックの影響を受けながらも、国内外の需要が回復し始めた一年でした。しかし、インフレ率の上昇や円安、物価上昇が進行する中で国内企業や消費者の負担が増えるなど、依然として多くの課題が残っています。新たなテーマとして、デジタルトランスフォーメーションの推進やグリーンエネルギー化が注目されており、今後はこれらに対応して地場産業のさらなる振興を図ることが重要です。

当センターにおいては、農林水産物の直販コーナーを設置したことが来場者数の増加につながり、店頭販売の売上向上に寄与しました。

外販出展は減少傾向にあるものの、ECサイトでの売上増加によりこれを補い、全体としては6.9%の売上増を達成しました。

以下、本年度の事業内容について報告します。

I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）

1 丹後地域新商品・新技術開発支援事業

加工食品の保存性の向上や価格の適正化など、丹後地域が抱える課題を解消すべく、京丹後市食品加工支援センターを活用し、新商品・新技術の開発、試作品・パイロット商品づくりを行うとともに、販路開拓事業で収集した消費者情報に基づき、商品の改良、新商品の開発指導を実施しました。

(1) 京丹後市食品加工支援センター運営事業

令和5年1月から「京丹後市食品加工支援センター」（以下「食品加工支援センター」という。）を稼働し、丹後地域内事業者の食品加工製造をサポートしました。

令和5年度末実績（丹後地域内事業者）

製造数 : 19 商品
試作中 : 28 商品
製造相談 : 9 件

資料1（別冊P1）

(2) 丹後地域加工食品品質向上連絡会

丹後地域加工食品品質向上連絡会は、丹後地域の加工食品製造者の商品開発、加工技術の向上、販路開拓支援を促進することを目的に設立されており、地域の食品加工に関する課題を共有し、解決に向けた方策を検討するとともに、食品加工支援センター事業の評価を行いました。

- **第1回連絡会**

開催日：令和5年6月13日（火） 出席者7名+アミティ3名

場 所：丹後地域地場産業振興センター 研修室A

内 容：

- ・食品加工支援センター概要報告について
- ・食品加工支援センター稼働状況報告について
- ・事業者支援策及び周知策について
- ・食品品質向上セミナー開催内容について
- ・食品加工支援センター見学

- **第2回連絡会**

開催日：令和6年2月13日（火） 出席者7名+アミティ3名

場 所：丹後地域地場産業振興センター 研修室D

内 容：

- ・食品加工支援センター稼働状況報告について
- ・食品加工支援センター課題について
- ・食品品質向上セミナー開催報告及び令和6年度に向けた内容協議について

2 高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業

平成27年度に当センター内に整備した高機能急速冷凍装置を活用し、丹後地域の食品加工業者、飲食・宿泊業、小売業者など、それぞれの分野で「食」に関する新たな戦略の構築を支援しました。

令和5年度活用実績：19社、延161回

3 栄養成分分析サービス

改正食品表示法で義務付けられた栄養成分表示に対応するため、当センターで分析サービスを実施しました。

令和5年度実施実績：2社、5点

Ⅱ 人材育成事業（公益目的事業1）

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属製造業をはじめ、地域事業所、商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、地域の特性を生かした未来指向型の産業・ワークスタイルを創造し、新たな産業・事業所の創出を図り、雇用・就業の機会を促進するため、以下の人材育成事業を実施しました。

1 創業支援事業

平成26年度から創業支援事業を行い、創業支援窓口を開設し、京丹後市をはじめとした関係機関・団体と連携協力し、相談及び指導、情報提供を行いました。

2 手機講習会の開催

研究開発棟に設置の手機を活用し、丹後地域の伝統産業である機織り講習を開催するとともに、織物体験講師の育成を図りました。

- 開催日：令和6年2月6日（火） 参加者 5名
場 所：丹後地域地場産業振興センター 織物開発室
講 師：吉田織物 吉田 賢志氏
内 容：
 - ・織機組立
 - ・経糸の糸入れ
 - ・箆入れ
 - ・機拵えの調整

3 丹後地域生産者・製造者レベルアップ支援事業

丹後地域の加工事業者等に対し、販路が求める加工技術に関する研修を行うことで、事業者及び地域の総合的なレベルアップを図りました。

(1) 食品品質向上セミナー

● 第1回セミナー

開催日：令和5年7月14日（金）
場 所：丹後地域地場産業振興センター 研修室A
内 容：HACCPによる衛生管理へのアプリ活用セミナー
（座学）
講 師：ダスキン近畿地域本部
JHTC 認定 HACCP コーディネーター 米澤 一弘氏
受講者：丹後地域の事業者 8業者 10名

● 第2回セミナー

開催日：令和6年1月29日（月）
場 所：丹後地域地場産業振興センター 研修室A
内 容：食品を安全に加工する技術的基礎セミナー（座学）
講 師：京都先端科学大学
特任教授京都大学名誉教授農学博士 安達 修二氏
受講者：丹後地域の事業者 17業者 18名

Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

(1) 令和5年度 Tango Good Goods 認定事業

平成11年度から取り組んでいる Tango Good Goods 認定事業を実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図る

とともに、丹後ブランド商品のコンセプト確立とそれに基づくブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の拡大・開拓を推進しました。

また、認定品への Tango Good Goods ロゴシールの貼付を推進し、地域ブランド商品としての差別化を図りました。

ア 認定状況

(ア) 申請状況

申請者数 39 業者 申請商品数 64 点

(イ) 認定状況

認定者数 39 業者 認定点数 64 点 (令和 5~7 年度の 3 年間有効)
(参考) 通算有効認定数 (令和 3~5 年度認定商品)

認定者数 86 業者、認定点数 186 点

(ウ) 優秀産品表彰

優秀産品表彰制度は、認定品の中で特に優秀と認められるものを選定・表彰する制度で、本年度は 6 点が表彰されました。

また、優秀産品を示すロゴシールの作成、配布を実施しました。

イ Tango Good Goods 認定推進委員会開催

事業実施においては、認定推進委員会の委員 10 名に審議いただき、認定商品の決定等をしました。

(ア) Tango Good Goods 認定推進委員会

(第 1 回) 令和 5 年 4 月 21 日 (金) : アミティ丹後

内容 : 令和 5 年度事業内容について

(第 2 回) 令和 5 年 6 月 29 日 (木) : アミティ丹後

内容 : 認定商品の審議・決定について

(イ) Tango Good Goods 審査会

審査員として専門家 (デザイナー、食品アドバイザー、マーケティングアドバイザー、バイヤー 2 名) 5 名を委嘱し、審査会を開催しました。

審査会 : 令和 5 年 6 月 27 日 (火) ・ 28 日 (水) にアミティ丹後
で実施

審査終了後に全体講評及び商品個別相談を実施

(ウ) Tango Good Goods 認定品カタログの作成 (BtoB 用) 及びバイヤーへの配布

令和 5 年度認定品を掲載したカタログを作成し、見本市等でバイヤーへ配布しました。(作成部数 700 部)

(2) 第 25 回 Tango Good Goods 見本市の開催

25 回目となる見本市を京都丹後ブランド産品会との共催により、10 月 21 日 (土)、22 日 (日) に宮津市民体育館において開催し、丹後ブランド認定商品を中心とした地場産品の地域内 PR 及び流通促進を図りました。

また、令和 5 年度認定品を一堂に集め PR 展示しました。

資料 2 (別冊 P3)

(3) 販路開拓個別相談会

第 25 回見本市会場内で海外への販路開拓を考えている事業者に対して個別相談会を実施しました。

開催日：令和 5 年 10 月 22 日（日）

場 所：宮津市民体育館（見本市会場内）

講 師：（一社）京都府農業会議 輸出担当コーディネーター
小畑 陽一氏

相談者：4 業者

(4) Tango Good Goods 販路開拓支援

認定商品の地域外への販路開拓を推進するとともに、認定事業者の育成を図り、認定事業者の総合的なレベルアップを目的に以下の事業を実施しました。

- ▶認定審査員に首都圏域のバイヤーを採用
- ▶販路開拓支援として認定者から 3 者をバイヤーより選定
- ▶首都圏の売場等視察及びミーティング

（選定事業者とバイヤーで意見交換を行いながら商品のブラッシュアップを実施）

ブラッシュアップされた商品のテスト販売を日本百貨店しょくひんかん、大野屋東急店・桜木町店で実施し、販売状況等のフィードバック等を行いました。

資料 3（別冊 P6）

(5) ビジネス商談会 in 京丹後

関西圏のバイヤー（4 社）を京丹後市内に招聘し、京丹後市内の食関連事業者との商談及び生産・加工現場の見学機会を提供し、京丹後産食材の販路開拓を支援しました。

実施日	内容＜場所＞
令和 5 年 9 月 7 日(木)	サプライヤー 3 社（竹野酒造、SEACRAFT、小野甚味噌醬）の事業所等を現地視察 ＜各事業所所在地＞
令和 5 年 9 月 8 日(金)	バイヤー 4 社とサプライヤー 12 社の商談会（48 商談） ＜丹後地域地場産業振興センター多目的ホール＞

2 京都丹後ブランド産品会の支援及び地域特産品販路開拓事業

Tango Good Goods 認定事業者のうち、地域外へも販路開拓する意欲のある事業者で発足した「京都丹後ブランド産品会」の活動を支援し、新商品開発及び商品改良指導、販路開拓等の事業を実施しました。

(1) 京都丹後ブランド産品会の主な事業

- ア 丹後のええもん うまいもん展の開催
- イ 展示即売会等の開催情報の提供
- ウ 中元カタログ及び歳暮カタログの作成配布

(2) 地場産品販路開拓支援事業

丹後王国「食のみやこ」との連携により、京都市内をはじめとする近隣の大都市圏において農産物及び地場産品の販路開拓を行い、地域商社として流通促進を実施しました。

3 染色体験・手織体験事業

観光客等が地域資源である丹後ちりめんや織物に対する理解を深め、地域産業に触れてもらう機会を創出するため、網野染色研究会「茜」や網野機業組合の協力を得て、体験事業を実施し情報発信及び誘客コンテンツの造成・強化を図りました。

(1) 染色体験

観光客も回復し団体受入れもあり前年を大きく上回りました。
408名 (前年対比 281%) を受け入れました。

(2) 手織体験

40名 (前年対比 142%) を受け入れました。

IV 情報収集・提供事業 (公益目的事業 1)

1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工し新商品の開発、改良の基礎資料としてもらうため出展者へ毎月「アミティ情報」を発行しました。

消費者の購買動向、生の声を伝えることにより出展者の商品開発やセンターとの連携強化を図ることができました。

2 センター公式ホームページによる地域資源発信事業

地域生産者、消費者が手軽に利用できタイムリーな情報を提供することを心がけ、地域情報、センター情報、産品情報、広報等をセンター公式ホームページから発信しました。

併せて、丹後地域及びセンター情報を発信するSNSによる情報発信を展開し、身近な情報を提供することで、地域及びショップへの誘客の増加を図りました。

また、ホームページやふるさと納税サイトを含むECサイトへの誘導策としてSNSの活用に注力しました。

○丹後地域地場産業振興センター公式ホームページ URL

<https://amitytango.jp/>

○SNS活用状況

FaceBook・Instagram・X (旧 Twitter) に投稿

V 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業1）

1 地場産品常設展示

当センターの重要な柱の事業である地場産品のPRを目的とする常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ184業者の地場産品約3,000品目に及ぶ製品を展示・販売しており、来館者の注目度も高く、観光関連業者からのご案内も数多くいただきました。

地域の観光資源としての機能強化を図るとともに、丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの把握による需要拡大に努めました。地域住民への利便サービスの向上による来場者の増加を目指し、農産物直売コーナーの充実を図りました。

また、店舗における購買動向を分析し、出展者の商品開発、改良に寄与するほか、センター事業の企画立案の基礎としていただきました。

2 丹後産品情報発信事業

京都丹後ブランド産品会との共催で、消費者向けのカタログ（中元・歳暮の2種）を作成し顧客等へ配布するとともに、消費者が直接産品を購入できるECサイトの運営強化及び京丹後市ふるさと納税サイトの啓発を図りました。

（独自ショップ） <https://tango.jibasan-shop.jp/>

（Yahoo!ショップ） <https://store.shopping.yahoo.co.jp/amitytango/>

資料7（別冊P64）

VI 会館提供・コミュニティー事業（収益事業1）

1 会場提供事業

センター2階施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出すとともに地域コミュニティーの場として地域活性化の一助としました。

資料8（別冊P67）

VII 誘客販売事業（収益事業2）

1 販売事業

来館者等のニーズを捉え、土産品としてキーホルダーや野村克也ベースボールギャラリーグッズ等を発案し、販売しました。

2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設22年を迎え、地域住民・観光客等から好評を得ており、朝市出展者会の協力の下、本年度も引き続き毎週日曜日に開催しました。

また、以下のとおり感謝祭を開催しました。

(1) アミティ丹後春の感謝祭

令和5年4月30日（日）午前8時から午前10時開催 来場者 300人

(2) アミティ丹後秋の感謝祭

令和5年11月5日（日）午前8時から午前10時開催 来場者 350人

3 野村克也ベースボールギャラリー

故野村克也氏からの貴重な寄贈品を京丹後市から貸与いただき、氏の功績をたたえとともに地域の観光資源として展示を行いました。

資料9（別冊 P69）

VIII 丹後地域外食品加工受託事業（収益事業3）

1 京丹後市食品加工支援センター

加工支援センター（新商品・新技術開発支援事業）の設備を活用し、丹後地域外からの製造依頼にも対応しました。

令和5年度末実績（丹後地域外事業者）

製造数：4商品、試作中：9商品、製造相談15件

VIII 管理事業

1 理事会の開催

開催日	主な審議内容
令和5年4月13日（木）	○専務理事の選定について
令和5年5月30日（火）	○令和4年度事業報告及び収支決算の承認について ○評議員会の招集について
令和6年3月21日（木）	○令和5年度専決処分事件の承認について ○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター給与規程の一部改正について ○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター文書管理規程の一部改正について ○令和5年度事業計画及び正味財産増減予算の承認について

2 評議員会の開催

開催日	主な審議内容
令和5年4月13日（木）	○理事の選任について ○監事の選任について ○評議員の選任について
令和5年6月12日（月）	○令和4年度貸借対照表、損益計算書の承認について ○評議員の選任について

3 監査会

開催日	内容
令和5年5月11日(木)	令和4年度事業・決算監査

4 全国地場産業振興センター協議会

(1) 全国地場産業振興センター協議会総会

令和5年7月6日(木) 午後2時～午後4時40分

(公財) 姫路・西はりま地場産業センター

- 令和4年度事業報告及び収支決算について
- 令和5年度事業計画(案)・収支予算(案)について
- 役員(次期会長、副会長、幹事センター)の選任について
- 次期総会開催センターの決定について
- 近畿ブロック及び中・四国ブロックの統合について